

イシガイ

Unio douglasiae Martens

イシガイ目イシガイ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

水路の改修工事により生息環境が悪化しているため。

形態

殻はやや細長く、殻長50mm前後になる。成貝では殻表面の彫刻模様は目立たないが、幼貝では連状の模様が見られる。

国内分布

日本全国。

県内分布

柴山潟、木場潟、邑知潟周辺の小河川、水路。河北潟水系の河川においても死殻が得られているが、河北潟水系では現状が不明。

生態

小川や水路の砂泥底に生息する。

生息地の条件

生貝が潜る砂泥底と幼生が寄生する魚類（ハゼ類など）の存在が条件。

生存の危機

水路の改修工事による砂泥底の消失。外来魚の侵入により幼生の寄主となる魚類がいなくなること。
(A, C)

参考文献

石原一彦 2008. 石川県邑知潟周辺の水路で見られるイシガイ類（予報）. ちりぼたん. 39 (1) : 55-56. (淡水貝類研究会第13回研究集会講演要旨).

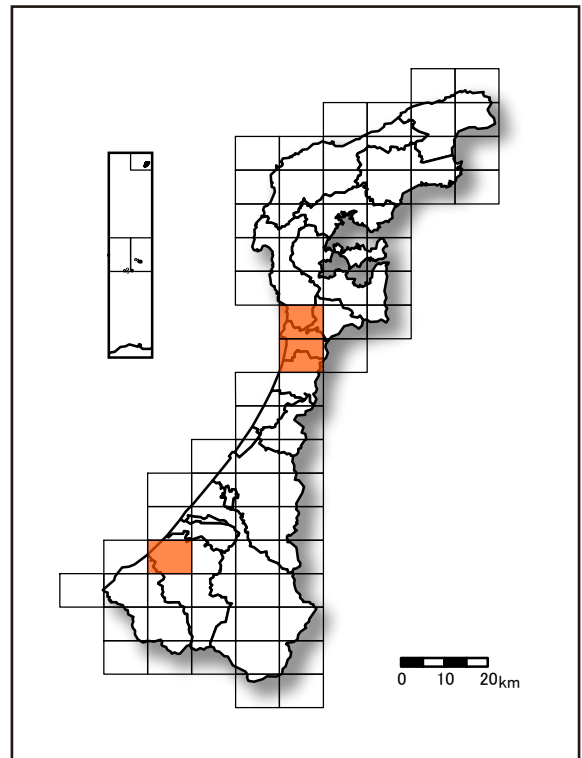
近藤高貴 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号. 69pp. 日本貝類学会

増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.

野村卓之・高橋久 2006. 河北潟地域の陸・淡水産貝類相. 河北潟総合研究. 9 : 7-22.



写真提供者: 石原一彦



県内の分布